



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：内閣改造と上院議員の任命

12月6日、ハマド国王は、新たな内閣人事を承認するとともに、省庁の再編を行った。通信省は運輸省に、地方自治・都市計画省は公共事業省に統合された。また、文化省は廃止された。これにより、省庁の数は20から17に減少した。なお、石油省はエネルギー省へと名称を変更した。

7日、ハマド国王は、上院議員40人を任命した。40人中、23人が新人である。女性議員は9人（うち4人が新人）となり、前の議会から2人減少した。8日、ハマド国王は、アリー・サーリフ・アブドゥッラー・サーリフ議員を上院の議長に任命した。

バハレーンでは、11月22日及び29日の下院選挙を受け（選挙の詳細に関しては[「バハレーン：議会選挙の実施（最終結果）」『中東かわら版』No.196（2014年12月3日）](#)を参照）、11月30日に内閣が解散。同日に首相に再任命されたハリーフア首相は、12月3日に内閣人事を国王に提出していた。新たな内閣の顔ぶれは以下の通り。

・首相

ハリーフア・サルマーン・アール＝ハリーフア（王族）：留任

・第一副首相

サルマーン・ハマド・イーサー・アール＝ハリーフア（皇太子兼副最高司令官）：留任

・副首相

ムハンマド・ムバーラク・アール＝ハリーフア（王族）：留任

アリー・ハリーフア・アール＝ハリーフア（王族）：留任

ジャワード・サーリム・アリード：留任

ハーリド・アブドゥッラー・アール＝ハリーフア（王族）：留任

・閣僚

ムハンマド・イブラーヒム・ムタツワウ、フォローアップ担当大臣：留任

ラーシド・アブドゥッラー・アール＝ハリーフア（王族）、内務大臣：留任

ハーリド・アフマド・ムハンマド・アール＝ハリーフア（王族）、外務大臣：留任

アフマド・ムハンマド・アール＝ハリーフア（王族）、財務大臣：留任

マージド・アリー・ヌアイミー（博士）、教育大臣：留任

アブドゥルフサイン・アリー・ミールザー（博士）、エネルギー大臣：留任

ハーリド・アリー・アブドゥッラー・アール＝ハリーフア（王族）、司法・イスラーム・寄進大臣：留任

イサーム・アブドゥッラー・ハラフ、公共事業・地方自治・都市計画大臣：留任
ジャミール・ムハンマド・アリー・フマイダーン、労働大臣：留任
カマル・アフマド・ムハンマド、運輸・通信大臣：留任
バーシム・ヤアクーブ・ハマル、住宅大臣：留任
ガーニム・ファドル・ブーアイナイン、評議院・代議院担当大臣：新任
サーディク・アブドゥルカリーム・シハービー、保健大臣：留任
ユースフ・アフマド・フサイン・ジャラーフマ、国防担当大臣：新任
ファーイカ・サイード・サーリフ（女性）、社会開発大臣：新任
ザイド・ラーシド・ザヤーニー、商工大臣：新任
イーサー・アブドゥルラフマーン・ハマーディー、情報大臣：新任

・退任

ムハンマド・アブドゥッラー・アール＝ハリーファ（王族）、元国防担当国務大臣
アブドゥルアジーズ・ムハンマド・ファーデル、元評議院・代議院担当大臣
ハサン・アブドゥッラー・ファフロウ、元商工大臣（6日に経済担当国王顧問に任命）
ファーティマ・ムハンマド・バルシー（女性）、元社会開発大臣
マイ・ムハンマド・アール＝ハリーファ（王族、女性）、元文化大臣
ジュムア・アフマド・カアビー、元地方自治・都市計画大臣
サミーラ・ラジャブ（女性）、元情報大臣
ファワーズ・ムハンマド・アール＝ハリーファ（王族）、元通信大臣

評価

新たな内閣は顔ぶれに大きな変更もなく、政策面ではこれまでの路線を継続していくものと思われる。他方、省庁の再編により、閣僚ポストが減少することになった。また、3人の王族が異動の対象となり、王族の閣僚数は純減した。この動きは、行政機構の肥大化、王族による内閣支配への批判への対処と見られるが、現段階では情勢にどのような影響を及ぼすか不明である。

（村上研究員）